

昇仙峡地域活性化推進協議会  
設立総会及び第1回協議会 議事概要

日 時 令和2年8月7日（金）午後2時～午後2時45分  
場 所 甲府市役所6階 大会議室  
出席者 会長、副会長、委員4名、監事2名  
事務局 4名

【設立総会 議事概要】

- 1 開会
- 2 市長あいさつ（甲府市長、甲斐市長）
- 3 昇仙峡地域活性化推進協議会設立趣旨について  
⇒事務局より、資料に沿って説明し、異議なく承認された。
- 4 昇仙峡地域活性化推進協議会規約（案）について  
⇒事務局より、資料に沿って説明し、異議なく承認された。
- 5 閉会

【第1回協議会 議事概要】

- 1 開会
- 2 会長あいさつ
- 3 議事
  - (1) 第1号議案 昇仙峡地域活性化推進協議会役員の指名について  
⇒規約第6条第2項の規定に基づき、会長より監事2名を指名し、異議なく承認された。
  - (2) 第2号議案 昇仙峡地域活性化計画 2020年度事業計画（案）について
  - (3) 第3号議案 昇仙峡地域活性化推進協議会 2020年度収支予算（案）について  
⇒事務局より、第2号議案及び第3号議案について説明  
異議なく承認された。
  - (4) その他  
⇒事務局より、昇仙峡地域活性化推進協議会事務局規程及び会計規程、今後のスケジュールについて説明。  
異議なく承認された。

その他

【委員】

事業計画については、この通りでいいと思うが、昇仙峡観光協会ホームページとの情報発信のリンクについて、パンフレットを作ったら、常にリンク先で具体的な情報が見られるようにしておかないといけない。今はスマートフォン対応が一番重要となってきていて、パソコンよりもスマートフォンで観光情報を見る方が多い。昇仙峡観光協会のホームページはスマートフォン対応になっているので、そこへ飛ぶような形でリンクさせていただきたい。

【事務局】

情報発信等については、正確な情報発信と素早い対応をさせていただきたいと考えている。正しい情報というのが非常に重要になってくると思うので、事務局が中心となって、甲斐市や山梨県と連携する中で、正しい情報発信をしていきたいと考えている。

【委員】

昇仙峡の滝の上に行く際に、大型バスが行けるようにするというのは大切なこと。日頃、知事や県の方へはお願いをするのだけれど、今はコロナで会合ができず、行き会うこともないので、ぜひ、知事へも「桜橋」を早く作るようお願いしたい。大きい橋であるため作るのに年数がかかると思うが、大型バスがスムーズに行けないとなると観光会社も案内を敬遠するのではと危惧している。

広域農道は、農道とはいっても大きい道なので、早く供用開始ができるよう発破をかけてはいるけれど、県当局にお会いする皆様方には「桜橋」の工事の着工を希望したいと思う。

【事務局】

事務局の方で検討させていただきたいと思います。

【議長】

委員の皆様へも、その思いを共有してということだと思いますので、しっかりと受け止めさせていただきたいと思います。

【委員】

今はコロナで観光客の形態が変わっている。旅館を経営しているが、団体客は、ほとんどゼロで実態としては、自家用車で家族で来ているという方がほとんど。リバイバル会議でも話が出たが、昇仙峡で今一番大事なことの1つとして駐車場の確

保が非常に大事である。そして、昇仙峡を楽しむためにどういうルートを作るのかということが明確になっていないので、そこをしっかりとっていただきたい。補助金ではなかなかそういう事業にお金がでないので、特別な予算を組んでいただくなどして、早急にやらないと昇仙峡の観光客増加に繋がらない。今年、日本遺産になったことをきっかけに、しっかりとPRをしていかないと、日本遺産になったことを忘れてしまうのではないかと思う。

昇仙峡は外に出て森林浴やハイキングなどができる、コロナに対して強い観光資源だと思うので、むしろ今年の秋は、積極的に観光を呼び込むことをやった方が良いと思う。その場合に、滝上でお土産を買ったりするだけでなく、歩いていただくということは、以前からリバイバル会議でも言われていますけれど、長潭橋から歩いて、長潭橋まで戻って来られるようなルート観光をちゃんとするということと、他の委員へもお願いしたいが、甲府駅から路線バスに乗るのではなくて、観光客独自のバス、日本遺産のラッピングした観光バスを出して、明確に形を作ってもらった方がいいと思う。ルートを決めて、ルートができたところで、それぞれの代表に出てもらってPRをするのが大事なかなと思う。ぜひ、秋に盛り上げていければ一番いいのではないかと思う。

#### 【事務局】

個人の旅行が多くなっているということは、我々も承知しておりまして、昇仙峡の駐車場問題につきましては、今後、協議会、また、事務局の方でも検討させていただきたいと思います。秋に向けた誘客等に向けても情報発信をしっかり行い、皆様に来ていただけるような仕組みを考えていきたいと思っております。

#### 【委員】

昨年2月に湯村の新年会で「昇仙峡をぜひ日本遺産に」という話があり、そこをスタートに、この日本遺産認定に至った。山梨県と甲府市、甲斐市に一生懸命取り組んでいただいて、1年ちょっとで、6月19日に日本遺産認定されたことは、昇仙峡としてはとてもありがたいことです。委員の皆さまにも昇仙峡に力を入れていただいており、私たち受入側もしっかりしないと、と一生懸命やっているが、コロナが拡大し、若干お客さまは減っている。7月、8月に入って昨年の約半分くらいのお客さまが来ているけれど、バスは1台もないような状態で進んでいる。東京都では、県境をまたいだ外出は控えるようにと言われており、昇仙峡への来訪者の8割が首都圏からのお客さまとなるが、それが来られないというのが痛いかなと思っている。この秋に、という話もあったが、受入側も対策をしているが、見えにくい敵に四苦八苦しているのが実情。せっかく日本遺産に認定され、その前にはユネスコエコパークの緩衝地区にも認定されているので、その辺を上手く出しながら頑

張っていきたいと思うので、皆さまのお力添えをぜひよろしくお願いします。

【議長】

認定はスタート。みんなで力を合わせていきたいと思いますので、よろしくお願いします。

それでは、議案の審議、その他として貴重なご意見等をいただきまして、ありがとうございました。先ほど委員がおっしゃったように、日本遺産として昇仙峡が新たな輝きを増すように、皆さまと努力してまいりたいと思いますので、今後とも何卒よろしくお願いします。

【事務局】

以上をもちまして、昇仙峡地域活性化推進協議会第1回総会を終了いたします。  
ありがとうございました。

午後2時45分終了